令和５年６月３０日

ご関係のみなさまへ

日本防災士会･新潟県支部　学校防災教育推進部長　古俣和博

佐渡市赤泊地区で防災･減災スキルアップ研修会の講師を派遣

　昨年、11 月に講演をした直後の 12 月に大雪に見舞われ町全体が大停電になった赤泊地区。その時、どの様な対応をしたかを検証し、「災害時の対策は？」と「自主防災組織は機能したか？」などを各集落から発表してもらい町全体で共有して、「共助」（互近助力）を確かめた。

　防災･減災スキルアップ研修では、新潟県支部の古俣防災士を講師に、赤泊港周辺地区をモデルにして DIG（災害図上訓練）をワークショップ形式で実施し、参加者の地区でも実践できるようゲーム感覚でわかりやすく楽しめる内容とした。

　各テーブルの参加者も椅子から立ち上がって、積極的にとり組んでいました。

■概要

日　時：令和５年６月３０日（金）　19 時００分～20 時３０分
会　場：赤泊総合文化会館　３階　多目的ホール
主　催：赤泊地域づくり協議会
題　名：「赤泊地区　防災･減災スキルアップ研修会」
講　師：日本防災士会　新潟県支部　学校防災教育推進部長　 古俣　和博
来場者：70 名

大雪による大停電の検証

令和４年 12 月 18 日からの大雪と大停電

【想定外の事態に直面して皆さんの行動は？】

○集落内の除雪と安否確認をした
○集落住民で協力して倒木を撤去して、道路啓開
○近所の老人世帯に差し入れをした
○余っている石油ストーブを介護施設に貸出し
○発電機を持って一軒一軒巡回した
○発電機を活用して入浴できるようにした
○避難所を自主的に開設した
○炊き出しをおこなった
○島内の企業から発電機と蓄電池を持ってきた
○プロパンガス発電機を貸出した
○ダルマストーブを借りて集会所に設置した
○集会所を 24 時間開放した
○重機で私道の倒木を撤去して病院に通院した
○地域内で SNS を使い情報を周知した
○災害収束後に緊急連絡先（携帯番号）を整理

いいお話がたくさん聞けました。「共助」も
自主防災会も立派に機能しています。

会場全体の様子

盛り上がるワークショップ